



(写真撮影：赤間茂幸委員)

▶ 友だちいっぱいできるかな!! ◀

(大郷保育園入園式)

みんなの 議 会 NO. 186 2017 平成29年5月1日

- 2 特集／平成29年度予算
心豊かで持続的に発展するまちづくり
- 10 【補正予算】
2億1284万円を減額補正
- 14 第1回臨時議会
住民バス2台購入
- 17 町政を問う「一般質問に9名が登壇」
- 27 委員会活動レポート
- 31 追跡レポート その後どうなった…

平成29年度予算原案可決

心豊かで持続的に発展するまちづくり



▲待ち望んだ児童館落成

子育て・定住・ 環境整備の強化

平成29年第1回定例議会は、3月2日から17日まで16日間の会期で開かれました。

平成29年度各種会計9件の当初予算をはじめ、平成28年度の各種会計補正予算9件、条例の制定2件、改正6件、財産の貸与、議員発議1件についてを審議しました。提出された議案は、慎重な審議の結果、原案どおり可決しました。（補正予算については10く11ページに詳しく掲載）

前年比6億7512万円減額

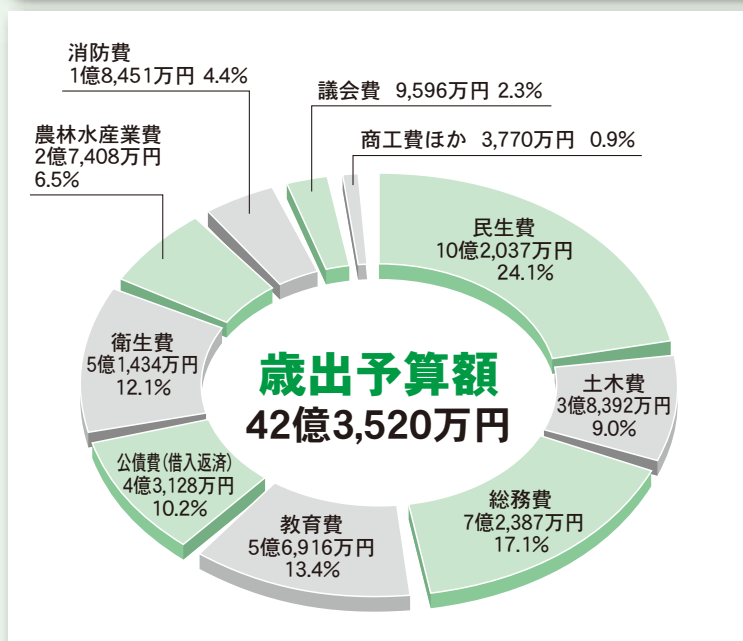
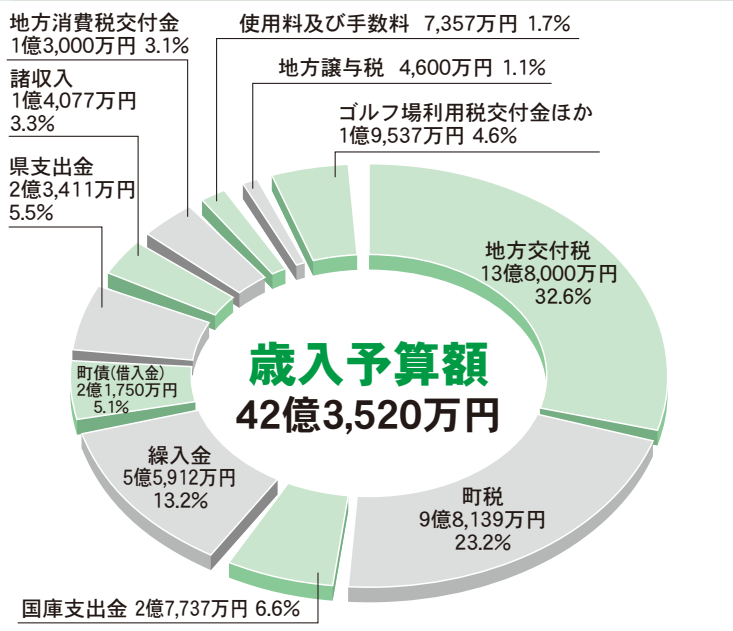
平成29年度の各種会計当初予算は、総額67億2779万円となり、前年比より6億7512万円の減額となりました。

一般会計は歳入歳出それぞれ総額42億3520万円で前年度当初予算より6億4340万円、率にして13・2%の減となりました。歳入では、町税は企業の設備投資による固定資産税の増額を計上し248万円増の9億8139万円、地方交付税は厳しい状況が続いているため前年同額で13億8000万円。また、ふるさと納税の増により寄付金

平成29年度各種会計予算額

会計別	予算額	前年度対比
一般会計	42億3,520万円	- 13.2%
特別会計	国民健康保険	10億 169万円 - 1.0%
	介護保険	10億4,040万円 + 1.4%
	後期高齢者医療	8,382万円 + 0.7%
	下水道事業	2億4,142万円 + 12.6%
	農業集落排水事業	5,659万円 - 1.8%
	戸別合併処理浄化槽	6,176万円 - 9.0%
	宅地分譲事業	691万円 - 89.1%
水道	収益的支出	2億2,561万円 + 7.6%
	資本的支出	8,305万円 - 10.6%
合計	70億3,645万円	- 8.7%

一般会計予算の内訳



収入が3018万円となりました。

厳しい財政運営

国庫支出金等の特定財源では、事業継続等の事業完了で減額、補助事業負担率に応じて、全体的な均衡を図るため財政調整基金の取り崩しを行い予算を編成しています。

歳出面では成田橋修繕工事、文化会館外壁等改修工事、町道山中希望の丘線測量業務、町道土橋明ヶ沢線交差点改良設計業務、高崎団地確定測量業務、継続事業として、すこやか子育て医療費助成、定住促進事業補助、新規に小学校入学支援事業、農業振興基金事業として集落枠を設け、さらに地域おこし協力隊事業等

を計上しています。

【審議結果】

一般会計、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、宅地分譲事業の各特別会計に意見を付し賛成多数で原案可決。
その他の4会計を全会一致で原案可決。

予算審査特別委員会



赤間茂幸副委員長



石川壽和委員長



▲地域の防災は私たちの手で!!

主な使いみち

議会費	9,596万円
夏まつり事業費	400万円
消防施設費(組合負担費)	1億5,379万円
非常備消防費	2,617万円
交通安全対策費	338万円

総務・財政

防災体制の強化を

問 婦人防火クラブ活動費の見直しを。

答 総会、役員会等の機会をとらえ、状況を確認しながら検討していきたい。

問 29年度は、新規採用職員を10名予定しているが、どのような考えか。

答 28年度で退職者が8名あった。補充に加え、保健福祉課の介護事業、債権管理に関する事務等の充実のため、8名に2名を加えた

問 採用とした。地域おこし協力隊とは、その募集状況は。

答 意欲ある若者を本町に招き、農業の振興、道の駅の運営支援、農業生産法人の農業後継者の育成を行うもの。申込期日まで2名の申し込みがあったが、採用までに至っていない。再度募集の状況である。

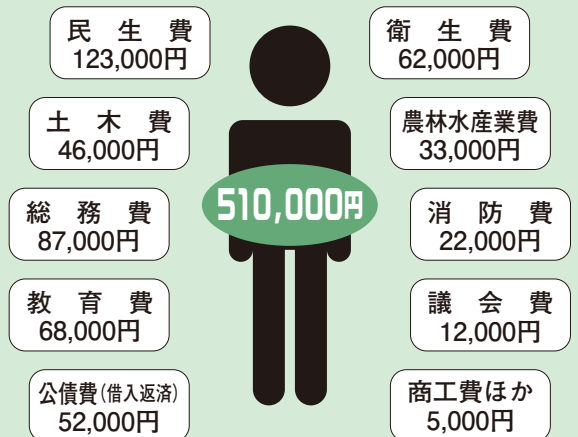
各課予算を

徹底審議・検証

平成29年度各種会計当初予算について、議長を除く議員全員による予算審査特別委員会を設置し、延べ6日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、徹底審議・検証しました。

主な質疑と答弁の内容は次のとおりです。

一般会計歳出予算の 町民一人当たりの金額



生活・環境

町民に愛される住民バスの運行継続を

主な使いみち	
住民バス管理費	5,460万円
公園管理費	723万円
し尿処理場費(組合負担費)	1,728万円
環境衛生費	4,111万円
ごみ処理費(組合負担費)	2億5,837万円

問 住民バスは、運行17年目を迎え、間もなく乗車人数100万人となる。利用者のみならず、運行業者にも何らかの形で感謝の意を表してはどうか。

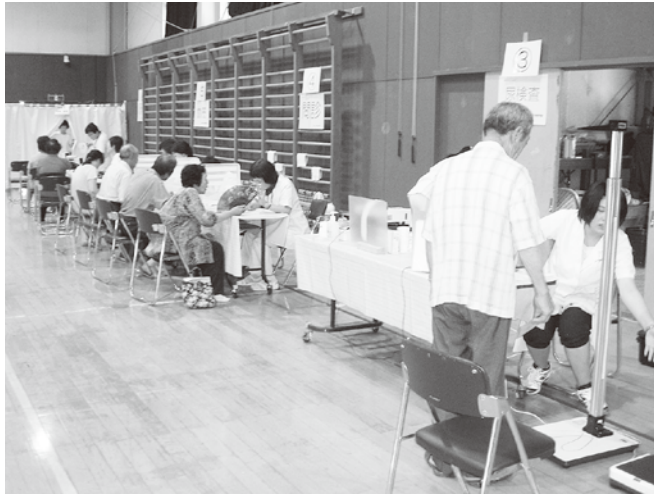
答 平成12年から運行を開始し、3月中旬に100万人に達する。いろいろな面から住民の方々に感謝の意味を込めてセレモニー等を開催し、アピールしていきたい。

問 防疫薬剤の散布については、統一した実施方法となっているのか。

答 現在配布している薬剤は、縁の下などに散布するものではなく、家の周りに散布し、害虫の侵入を防ぐという考え方である。薬剤の散布のあり方については、今後の重要な検討課題と認識している。



▲100万人達成(住民バス)



▲受診率の向上を

主な使いみち	
老人福祉費	3億1,366万円
児童措置費(児童手当)	1億2,390万円
保育所費	1億2,065万円
予防費(各種検診)	5,182万円
公立黒川病院費	6,600万円

保健・福祉

若世代検診30歳からに拡大

問 老人ふれあいの家のバスの発着時間が10時30分まで帰りが3時半でないと帰れない、実際参加している人達はどう思っているのか、アンケート調査をすれば利用する人数も増えるのでは。

答 アンケートを実施して今後なにが必要なのか検討していきたいと考えている。

問 健康診断で例年と違い目新しいものはないのか。

答 健康診断の自己負担金

の見直しをおこない腹部超音波は2000円から1000円に、若世代検診は35歳から39歳までを30歳から39歳までに拡大し、また乳がん検診の時間帯を見直そうと対がん協会と調整している。

農政・商工

開発センターの活用を

主な使いみち	
多面的機能活動組織交付金	5,254万円
農地中間管理機構集積協力金	1,320万円
開発センター管理費	552万円
農業振興総合補助金	1,590万円
縁の郷施設管理費	1,002万円

問 開発センターについては、再三指摘している。この一年間で開発センターの改革への具体的取り組みがあったのか。

答 改革として、テナントを張り付ける考えで2回ほど募集したが、成果までには至っていない。道の駅、物産館、開発センターを中心にした住民ニーズに合わせ、産業振興、雇用創出が図られるよう進める。

問 農業振興総合補助金、環境保全型農業組織交付金における新規事業とは。

答 農業振興総合補助金では、集落機能維持及び再生活動事業。
環境保全型農業組織交付金では、有機農業の取り組み、堆肥の施用事業である。



▲開発センターでの肥満予防調理講習会

建設・土木

通学道路は安全第一

主な使いみち	
道路維持費	2,022万円
道路新設改良費	2,257万円
橋梁新設改良費	1億 200万円
粕川地区堤防除草作業委託費	661万円
町営住宅建設費	630万円

問 山中希望の丘線新設は、町の説明では子供たちの通学の安全が第一という考え方であるが、町内には、安全面で改良すべき生活道路等があるのではないか。

答 教育課等との合同点検も毎年実施している。今後は行政区長さんの意見も聞きながら、危険度の高いところ、優先順位を考慮し、しかるべき措置をとり安全を確保していきたい。

問 東沢団地は、今後取り壊しの予定であるが、住み続けたいという世帯はあるのか。あるとすれば、その対応は。

答 17世帯中、7世帯がそのまま住み続けたいとの要望があるが、高崎団地への住み替えへの働きかけを今後も継続していく。



▲お姉さんと一緒に安全通学

教育・文化

フラップ大郷21 利用基準の緩和を

主な使いみち	
奨学資金貸付金	1,392万円
小・中学校パソコン賃借料	889万円
社会教育施設管理費	8,238万円
秋まつり事業費	335万円
学校給食費助成金	618万円

問 フラップ大郷21の建設目的は。より町民が利用しやすい施設とすべきでないか。

答 フラップ大郷21は、国体の開催に向けて建設したもので、広く町民の利用を前提にしている。現状は、トヨタ自動車東日本ハンドボール部の練習に利用されている。あくまでも、町民が利用する施設であり、今後検討したい。

問 幼稚園での3年保育の実施時期は。

答 平成31年4月開始予定である。

問 スクールソーシャルワーカーとは。

答 月2回程度、県から派遣として学校に来ていただき、問題を抱えている児童や生徒に対し、児童生徒が置かれた状況等を把握し、関係機関とのネットワーク構築の支援を行うもの。



▲ラクチンラクチン、早く交替して（大郷幼稚園にて）

特別会計

早期発見・早期治療



▲あなたは大丈夫？認知症対策

主な使いみち	
国民健康保険給付費	6億 328万円
介護保険給付費	9億7,295万円
後期高齢者医療広域連合納付金	8,280万円
下水道管理費	5,865万円
農集排事業管理費	2,215万円
合併浄化槽管理費	3,946万円
宅地造成事業費	635万円
水道事業会計	
石綿セメント管更新事業費	2,000万円

問 認知症共同生活介護事業所家賃等助成とは。

答 グループホームもも太郎さん大郷へ入所している町民の方に対しての家賃等助成を図るもので、介護保険制度の負担軽減と合わせる形で非課税の世帯で段階に分け助成を考えている。

問 認知症は何人いるのか。早めに発見する対策は。

答 介護保険の認定を受けている方の中の数424

名。グレーゾーンの方を含めると822名程度。早期発見、早期治療となるようの方策を図る。

問 国民健康保険税の一般被保険者と、退職者被保険者の世帯数と人数は。

答 28年2月現在で1124世帯1945人が被保険者、退職者被保険者等が55人。

町当局に13項目の意見を提言



予算審査特別委員会は、6日間にわたる委員会審査の結果、13項目に及ぶ意見を町当局に提言しました。

一般会計

住民バス車両に工夫を

住民バス車両をボデイカラー等で統一化し、町のピアーールに努められたい。

納税貯蓄組合育成を

納税貯蓄組合の育成強化を図られたい。

受診率の向上を図れ

早期発見、早期治療のための各種検診受診率向上を図られたい。

医療費抑制の事業を

健康増進を啓蒙し、医療費抑制に努められたい。

ごみ減量推進を図れ

ごみ処理量の削減のため、ごみ分別の指導を図られたい。

開発センター等有効活用を

依然として進まない開発センター等の有効活用を早急に図るべきである。

貸付金早期回収を

未来づくり事業貸付金の早期回収を図られたい。

万全な防災体制を

防災体制の一層の充実を図られたい。

介護保険特別会計

認知症対策の早急な対応を

認知症対策を早急に図られたい。

下水道事業特別会計

農業集落排水事業特別会計 戸別合併処理浄化槽特別会計

加入促進に努力されたい。

宅地分譲事業特別会計

早期販売実現へ広報戦略を

宅地分譲の早期販売実現に向け、広報戦略に努められたい。

討論

一般会計予算

反対 大友三男議員

公共事業の平均落札率が95・7%と高い。本年度からのスクールバスの委託先が競争見積随意方式をとり、随意契約で決定したことから、町の事業予算に対しては、も疑問や不信感を持たざるを得ない。よって予算案についての反対討論とする。

賛成 石川壽和議員

6日間の予算審査特別委員会において各課より詳細

な説明を受け、委員各位で慎重審議を重ねた結果、先ほど予算特別委員会の委員長として意見を付して可決と報告した。委員会報告を支持し、賛成討論とする。

反対 高橋重信議員

高崎団地の造成工事、放射光施設の誘致活動費についてはこれまでも納得できない事業がある。希望の丘陵の新道建設通路として、他の安全手段を講じるべきである。財源不足を基金繰入によって財源調整を行っているが、より行政改革をするべきである。しっかりととした事業計画を踏まえ取り組みをすべきことから反対とする。

賛成 佐藤千加雄議員

歳入面では税、使用料の滞納整理に向けて、債権管理条例の制定により取り組み強化が見られる。歳出では子育て支援への配慮、橋梁の修繕等必要性の高い事業を優先的に行おうとする姿勢が見られる。さらには、

町の将来に向け財源の確保と町民の生活の利便性に考慮した予算であることから、賛成討論とする。

反対 千葉勇治議員

①一般競争入札が1社だけの入札もあり問題があるのではないかと。②町民税の歳入対策の明確な提案がなかった。③確定申告者作業について。④開発センターの有効活用について具体的な進展がない。支援策が示されない。⑤基幹産業の農業への提案がないなどにより反対する。

賛成 赤間 滋議員

行財政改革を進めながら町民サービスを下下させないあらゆる知恵を集中する必要がある、そのことが反映された予算と思われる。委員会審査において多くの課題が見えてきたが、課題に向け真摯に受け止め精査を加えて見直していく姿勢が見えたので賛成討論とする。

議会の主な動き (1/1~3/31)

月 日	用 務	月 日	用 務
1/4	議員全員協議会	2/14	宮城黒川地方町村議会議長会定期総会 (仙台市)
1/6	黒川消防署出初式 (大和町)	2/15	光科学イノベーションセンター設立総会
1/7	大郷町交通指導隊出初式	2/16	大衡村議会視察対応
1/8	大郷町成人式・新年祝詞会	2/17	議員全員協議会
1/9	大郷町消防団出初式	2/23	議会運営委員会
1/10	広報広聴常任委員会	3/2~3/17	第1回 (3月) 定例会
1/12	夢実耕望起工式	3/6	総務産業常任委員会付託事件審査
1/16	宮城黒川地方町村議会議長会正副会長会議 (仙台市)	3/8	議会改革調査特別委員会
1/17	黒川商工会大郷支部懇談会・広報広聴常任委員会	3/9	広報広聴常任委員会
1/20	県議長議員研修会	3/10	大郷中学校卒業式
1/22	ふれあいセンター21演芸会	3/14	議員全員協議会
1/24	県正副会長会議	3/16	大郷幼稚園卒園式
1/25	総務産業・教育民生常任委員会所管事務調査	3/17	大郷小学校卒業式・議会運営委員会
1/25	第1回臨時議会	3/21	東北放射光施設誘致促進協議会
1/26	茂登枝会との新春懇談会	3/22	春の交通安全運動県民総ぐるみ運動拡大大会議
1/26	東北放射光シンポジウム (仙台市)	3/24	黒川森林組合通常総代会 (大和町)
2/1	鶴田川土地改良区・手樽合併予備契約調印式	3/25	大郷保育園卒園式
2/5	新春防災懇談会	3/29	広報広聴常任委員会
2/7	「北方領土の日」宮城県利府集会 (利府町)	3/30	大郷町児童館落成式・議員全員協議会
2/14	宮城県町村議会議長会平成29年度定期総会 (仙台市)	3/31	大郷町ゲートボール協会定期総会

2億1284万円減額補正

第1回定例議会において、一般会計と7特別会計、水道事業会計の平成28年度補正予算が提案され、全会一致（一般会計補正予算及び宅地分譲事業特別会計補正予算は賛成多数）で可決しました。

一般会計は2億1284万円を減額し、歳入歳出それぞれ49億5496万6千円の予算となりました。

主なものは職員の中途退職等に伴う人件費の調整、経営転換協力金算定方法の変更による農地中間管理機構集積協力金の減額、並びに年度最終の事務の完了見込みにおける予算調整が主なものです。

主な質疑

国・県へ強い要望を

問 農地中間管理機構協力金減額の理由は。

答 農政商工課長 機構集積協力金が年度途中で改定になったことで面積・農家数が減となったためである。

問 国・県からの情報の伝達が遅れたのではないか。

答 農政商工課長 2月に情報が入り、2月・3月と12集落ほどで、地元説明会を実施した。ほかの市町村に先がけて説明をしたと思っている。

問 国・県の一方的な方針転換で極めて不安な要素を与えたということで、国・県に強い働きかけが必要だと思うが。

答 農政商工課長 地域農業が混乱するといった趣旨を踏まえて県・国に電話や直接面談で強く抗議をした。

(表) ●平成28年度補正予算の金額●

		補正後の金額
一般会計	2億1,284万円の減額	49億5,497万円
国民健康保険特別会計	2,658万円の減額	10億3,694万円
介護保険特別会計	3,151万円の減額	9億9,682万円
後期高齢者医療特別会計	1,386万円の減額	6,990万円
下水道事業特別会計	339万円の減額	2億1,985万円
農業集落排水事業特別会計	823万円の減額	5,209万円
戸別合併処理浄化槽特別会計	757万円の減額	6,048万円
宅地分譲事業特別会計	増減なし	7,244万円
水道事業会計（収益的支出）	151万円の増額	2億1,240万円
（資本的支出）	2,784万円の減額	8,019万円



▲さらなる農地集積の推進を



▲全面オープンが待たれる郷郷ランド

郷郷ランドの駐車場は

問 郷郷ランド整備後は駐車場は不足すると思われるが、対策は。

答 農政商工課長 増やすとすれば物産館の西側の農地しかないと思われる。利用客の流れを予測しつつ、地権者の方とお話ししながら対応していきたいと思っている。

問 太陽光パネルの増加で固定資産税はどうなっているのか、また、今後の見通しは。

答 税務課長 物件数で前年比1・65倍の61、税額は前年比2・45倍で2287万円の増である。今後の見通しはさらに増えていくと思われる。

問 不動産の売り払い収入というところで、現在、国などでも問題視されているがこの価格は、何を基準にしているのか。

答 企画財政課長 基本的には公有財産取得等調整会議というものを開催し、その中で売り払いの単価を決定していくことになっている。単価については、時価

が基本であり、固定資産税の評価額をもとに決定して売り払いをしている。

後期高齢者医療特別会計

問 広域連合納付金が1300万円の減額となっている。あまりに取り過ぎたのではという思いがあるが。

答 町民課長 予算策定時の前年の11月に示される数字で予算を組んでいるので、実際の医療費との差額が生じたため減額となった。

議会の情報はホームページでもご覧になれます

町政とあなたを結ぶ
大郷町議会

大郷町公式ホームページからリンクします。
<http://www.town.miyagi-osato.lg.jp>



町議会の役割としくみ	議会傍聴のご案内	請願・陳情の手続き	町議会議員の紹介
定例会年間予定	議会日程	定例会一般質問	審議結果
会議録	議会広報	お知らせ	大郷町HPへ

債権管理条例を制定

町の保有する金銭債権等の統一的な処理基準を制定

債権のルールを定め債権管理の適正化を図るもの。債権放棄の規定を定め債権回収の機会の確保と適切な不良債権処理を行う。

主な質疑

問 条例中の「公債権」「私債権」とは。

答 企画財政課長 公債権は、自治法上に定められている、地方税、分担金、使用料等。私債権は、私法上のもので、水道料、住宅使用料、奨学金の返還金等である。

問 私債権である住宅使用料、水道料等にも延滞金を課すべきでは。

答 企画財政課長 私債権については、延滞金に関する

る条例はなく、徴収はない。
問 最終的に回収不能となった場合、債権放棄するところがあるが、議会への報告は。

答 企画財政課長 特に規定はしていないが、決算の報告時が妥当と考える。

農業委員、農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について

農業委員会法が改正され、農業委員の定数の改正と農地利用最適化推進委員が新設。これに伴い年額報酬も改正された。

問 各委員の業務は。

答 農政商工課長 農業委員は、農地法に基づく売買、賃借、転用等従来の業務に加え、総会の審議、決定を行う。推進委員については、農地の利用状況の調査、あつせん、新規参入、中間管理事業の推進等を行う。相

互連携し、活動を推進する。
問 現行16名の農業委員が、改正により推進員を含め22名とした理由は。

答 農政商工課長 農業委員10名、推進委員12名の合わせて22名体制とした。

問 従来公職選挙法で選出されてきたが、町長の公募と改正される。選出方法の考え方は。

答 農政商工課長 地域農業者、関係団体からの推薦等をいただき、町長が議会に同意を求める。委員の過半数を認定農業者、利害関係のない方を1名以上、女性、あるいは若者も配慮する。

＝ 討論 ＝

反対 千葉勇治議員

現場で農業を守っている農業者の声を反映しにくく、形骸化し、農地利用の最適化を実施していればいいという農業委員会になるのではないかという不安をもつ。

報酬及び費用弁償等の改定

職名		改正前	改正後
農業委員会	会長	251,000円	380,000円 +実績給※
	職務代理者	214,000円	300,000円 +実績給※
	委員	208,000円	250,000円 +実績給※
	農地利用集積最適化推進委員		250,000円 +実績給※

※実績給：農地利用の最適化に向けた活動及び成果に応じ、予算の範囲内で町長が定める額

○費用弁償

	改正前	改正後
交通指導 交通整理	1回 1,500円	4時間未満 1,800円 4時間以上 3,600円
訓練	1回 1,500円	4時間未満 1,800円 4時間以上 3,600円
会議出席	日額 1,500円	日 額 1,500円

○隊員数

区分	改正前	改正後
隊長	1人	1人
副隊長	1人	1人
分隊長	2人	2人
隊員	21人	21人以内

交通指導隊条例の一部改正について
 交通指導隊員の定数、費用弁償の額の改定
 隊員の定数を「25人」から「25人以内」に。

○費用弁償

	改正前	改正後
水・火災・ その他の災害	1回につき 1,500円	4時間未満 1,800円 4時間以上 3,600円
警戒	1回につき 1,500円	4時間未満 1,800円 4時間以上 3,600円
訓練	1回につき 1,500円	4時間未満 1,800円 4時間以上 3,600円
会議出席	日 額 1,500円	日 額 1,500円

消防団条例の一部改正について
 消防団員の定数、費用弁償の額の改定
 団員の定数を「369名」から「310名以内」に。

財産の貸付について

旧大松沢ふれあいセンター（旧校舎及び敷地部分）について、平成29年3月31日で現貸付期間が満了するため、引き続き貸し付けるもの。

貸付の相手方

（株）夢実耕望

貸付金額

289万3500円

貸付期間

平成29年4月1日から
平成34年3月31日まで

【審査結果】

議案第2、4、10号

全会一致で原案可決

議案第3号

賛成多数で原案可決



▲消防団による操法訓練

住民バス2台購入



▲愛される住民バスに

平成29年第1回臨時議会が1月25日に開催されました。財産の取得について審議され、原案どおり可決しました。

【議案第1号】

財産の取得について

1. 取得する財産・数量
大郷町民バス(29人乗り) 2台
2. 取得の方法
指名競争入札
3. 取得価格
1373万7600円
4. 装備品
電動ステップ、バックカメラ付きナビゲーション等
納品時にドライブレコーダーを別途設置

【審議結果】

賛成多数で原案可決

主な質疑

- 問** 今のバスには1日分の録画しかできないドライブレコーダーを入れたと聞いているが、1日分だと前日の部分が上書きされていてデータの確認ができないがその点の考えを聞きたい。
- 答** 企画財政課長 現在設置しているものは3日分くらいは記録ができる。新車に設置するものについても一定期間の録画可能なものを考えている。
- 問** 住民バスのボディになにか印刷して町のイメージアップにつながるようにはどうか。
- 答** 企画財政課長 PR出来るよう内部で検討したい。

平成29年第1回臨時議会 議案採決結果

議案番号	議案名(略称)	議決月日	採決結果	賛成	反対	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	石川壽和	若生寛	赤間滋	和賀直義	高橋重信	石垣正博	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦	
議案第1号	財産の取得について	25日	可	12	1	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長は採決に加わらない。

請 願

農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願

総務産業常任委員会に審査を付託した結果、不採択となったが、本会議で審議の結果、賛成多数で採択しました。

〔請願者〕

宮城県農民運動連合会

会長 鈴木 道雄

赤道並びに土側溝の整備に関する請願

総務産業常任委員会に審査を付託した結果、採択の報告を受け、本会議の審議においても採択とした。

〔請願者〕

第20区 区長 島貫 守幸

討 論

賛成 千葉勇治議員

所得補償制度が切られることにより大規模面積で頑張っている方々の土台をつぶすことになり、地域の農業をつぶすことになる。

反対 若生 寛議員

国は、収入保険制度の準備、飼料米の推進、多面的機能支払い、農地集積の拡充等を進めている。国の政策を先取りし、足腰の強い農業の確立を目指すべきだ。

賛成 石川秀雄議員

農業経営を下支えする政策が必要であり、生産費を償う農業者戸別所得補償制度を復活させるべきだ。

国に意見書を提出しました

〔意見書名〕

農業者個別所得補償制度の復活を求める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣

衆参議院議長

財務大臣

農林水産大臣

「高額療養費制度」「後期高齢者の窓口負担」見直しの慎重審議と現行制度継続を求める意見書の採択を求める陳情

教育民生常任委員会に審議を付託した結果、不採択の報告を受け、本会議の審議においても不採択とした。

※総務産業常任委員会に付託され、継続審査中であつた次の2件の請願については、請願者より取り下げの申し出があり本会議にて取り下げが許可されました。

- 赤道を町道にする認定と赤道の拡幅並びに大栄団地の生活道路新設についての請願
- 町道味雉子喰線の歩道設置要望についての請願

平成29年第1回定例議会 議案採決結果一覧表

議案番号	議案名 (略称)	議決月日	採決結果	賛成	反対	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	石川壽和	若生 寛	赤間 滋	和賀直義	高橋重信	石垣正博	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦	
請願第4号	赤道並びに土側溝の整備に関する請願書	3日	採択	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
陳情第6号	「高額療養費制度」「後期高齢者の窓口負担」見直しの慎重審議と現行制度継続を求める意見書の採択を求める陳情書	3日	不採択	3	10	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	—	
請願第1号	農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願	17日	採択	7	6	●	○	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●	—
議案第1号	農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書(案)	17日	可	7	6	●	○	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●	—

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長は採決に加わらない。

平成29年第1回定例議会 議案採決結果一覧表

議案番号	議案名 (略称)	議決月日	採決結果	賛成	反対	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	石川壽和	若生寛	赤間滋	和賀直義	高橋重信	石垣正博	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦	
議案第2号	大郷町債権管理条例の制定について	6日	可	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第3号	大郷町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	6日	可	10	3	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○
議案第4号	大郷町個人情報保護条例等の一部改正について	6日	可	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	大郷町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	6日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	大郷町交通指導隊条例の一部改正について	6日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	大郷町消防団条例の一部改正について	6日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	大郷町税条例等の一部改正について	6日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	大郷町介護保険条例の一部改正について	6日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	財産の貸付について	6日	可	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成28年度大郷町一般会計補正予算(第6号)	6日	可	10	3	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	平成28年度大郷町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	6日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	平成28年度大郷町介護保険特別会計補正予算(第3号)	6日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	平成28年度大郷町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	6日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	平成28年度大郷町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	6日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	平成28年度大郷町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	6日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	平成28年度大郷町戸別合併処理浄化槽特別会計補正予算(第3号)	6日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	平成28年度大郷町宅地分譲事業特別会計補正予算(第2号)	6日	可	12	1	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	平成28年度大郷町水道事業会計補正予算(第4号)	6日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	平成29年度大郷町一般会計予算	17日	可	10	3	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成29年度大郷町国民健康保険特別会計予算	17日	可	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	平成29年度大郷町介護保険特別会計予算	17日	可	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成29年度大郷町後期高齢者医療特別会計予算	17日	可	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成29年度大郷町下水道事業特別会計予算	17日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	平成29年度大郷町農業集落排水事業特別会計予算	17日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成29年度大郷町戸別合併処理浄化槽特別会計予算	17日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	平成29年度大郷町宅地分譲事業特別会計予算	17日	可	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	平成29年度大郷町水道事業会計予算	17日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
 ※可否同数でない限り、議長は採決に加わらない。

町政を問う!!



質問者(登壇順)	質問事項(通告順)	ページ
1. 石垣正博	1. 平成29年度の予算編成について 2. まち・ひと・しごと創生総合戦略について	18
2. 高橋重信	1. 高崎団地の完成時期と総予算は 2. 新工業用地(川内地区)の見通しは 3. 次世代放射光施設誘致の手応えは	19
3. 佐藤千加雄	1. 産業の振興について 2. 移住定住の促進について	20
4. 赤間茂幸	1. 社会体育の振興について	21
5. 赤間 滋	1. 町長選挙出馬の決意と施政方針をうけて	22
6. 石川 壽和	1. おおさと夏まつりについて 2. ふるさと納税について 3. 川内地区の新工業用地について	23
7. 千葉勇治	1. 円滑な児童館運営をめざして 2. 希望の丘と山中団地をつなぐ町道建設について 3. 税金の自主申告に対する町の姿勢について	24
8. 大友三男	1. 本町発注の公共事業入札の現状について伺う 2. 大郷町小学校入学支援事業について	25
9. 和賀直義	1. 「町民が安心して暮らせる健康なまち」の施策について 2. 「教育のさらなる充実で心豊かなまち」の施策について	26

※一般質問の内容は、質問・答弁を広報広聴常任委員会で要約したものを掲載しています。



▲大郷町役場庁舎



石垣 正博議員

平成29年度の予算編成について

中長期的視点に立った予算(町長)

- 問** ①今回の予算編成時に以前と違った取り組みがあるのか。②昨年の決算における議会・監査委員からの意見は、平成29年度予算にどう生かされているか。③予算編成には、事務事業の計画的な管理等の方針は示されているか。
- 答** 町長 ①予算編成方法は従来と変わらない。重点的に取り組む目標を提示し編成②滞納整理の推進として、「債権管理条例」を議会に提案。③総合計画や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標達成のため、取り組みを深化・充実させることなど、中長期的視野に立った予算編成等について指示している。
- 問** 予算見積もり時、関係業者等から取得した見積書は、情報公開しているか。
- 答** 総務課長 内部で検討した後に、公開するかどうかを決める。
- 問** 各課が経費節減に努力して出た財源は、各課の次年度予算に反映されるのか。
- 答** 企画財政課長 不用額は剰余金として次年度に繰り越される。次年度は新たな予算をもって事業を執行していく。
- 問** 包括的な財政枠として、各課に予算を配分し、各課が独自で予算編成をするシステムを考えてはどうか。
- 答** 副町長 現時点では全く考えていない。
- 問** 平成29年度の新規職員採用人数は、また長期人事計画は策定されているか。
- 答** 総務課長 中途退職者もあることから、10名採用予定。職員に過重な負担がかからない人事計画をしていきたい。
- 問** 時間外手当では、ここ数年決算が予算を上回っている。集中改革プランに乗っ取って事務事業を遂行していると言われるがどうか。
- 答** 町長 行政改革は進めている。今後内部で改革すべき事項を検討し、町民の期待に応えていく。
- まち・ひと・しごと創生総合戦略の現状は**
- 問** 活力ある地域を維持するため政策を掲げているが、進捗状況はどうか。
- 答** 町長 14事業のうち、9事業の達成率が上がっている。少しでも目標値に近づけるよう努力する。
- 問** 総合戦略は5ヶ年と言う短い期間に達成できるのか。見直しなどの考えは。
- 答** まちづくり推進課長 達成していないところは、大郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議、議会等で意見を聞き、次年度に反映していく。



高橋 重信議員

高崎団地の総予算と完成時期は

総予算10億4500万、完成30年度16戸、31年度16戸(町長)

問 ①測量・設計業務はいくらか。②造成工事費はいくらか。③町営住宅戸数と建設費はいくらか。④分譲宅地の販売価格はいくらか。

答 町長 ①測量設計業務6千8百円。②造成工事費4億3千8百万円。③戸数、木造平屋16戸2億3千5百万円、2階建16戸3億4百万円。④分譲宅地の販売額について、具体的な金額の算出はしていない。

新工業用地(川内地区)の見通しは

問 造成工事費6億(6000坪)を投じて企業誘致は出来るのか。

答 町長 他に更地で提供できる工業用地は無く、早急な用地の整備が必要と考える。

問 東成田・川内地区の土

取場跡地を企業誘致のため、用地提供するべきだと考えるが見解を伺う。

答 町長 土取場は、それぞれの企業の所有地になっている。さらに事業が継続中であるので難しい。

問 ローヤルゼリーを取り扱う大企業から20haを菜の花畑としたいという事業の問い合わせを却下したのはなぜか。

答 町長 牧場跡地周辺に20haではなく300haお願いたしたいということだったが、土砂採取地であり、町は放射光施設用地として確保しているのが難しいと話した。

放射光施設の手応えは

問 文部科学省、学術審議会の小委員会において、必要性について議論が始まった。誘致活動へ、どのような取り組みをしているのか伺う。

答 町長 宮城県知事、東北大学総長、東北経済連合会会長の共同代表が務める「東北放射光施設推進協議会」は誘致実現に向けた活動を強化。候補対象とした



▲造成中の高崎団地



▲新工業用地予定地(川内地区)

5地点を対象に審査を行うとしていく。

今後は動向を注視しながら誘致活動していく。

問 味明公民館の懇談会で町民の方から、放射光誘致出来るのかとの質問に対し、町長は100%大丈夫との答弁があった。町で1500万円を予算計上して地質調査した結果「適地」で、

丸森町は「最適地」であると報道されたが誘致できるのか。

答 町長 調査した書類等を添付して申請をしなければならぬ。放射光だけでなく工業用地としても必要なので、その辺を理解していただきたい。



▲東京での企業誘致セミナー



佐藤千加雄議員

物産館の駐車場増設を早期に

効率的に対応できるように検討する(町長)

新年度の企業誘致活動は

問 今年度の企業立地セミナーへの取り組みは。

答 町長 例年東京と名古屋で開催され、毎回議会から参加協力を得ている。多方面から多くの企業が参加するセミナーは有効であり継続して参加していく。

問 企業立地セミナーは有効な企業誘致活動であるが、もっと工夫が必要では。

答 まちづくり推進課長 綿密な打合せを行い、新たなアイデアで取り組んでいきたい。

問 企業誘致促進に向けた新たな取り組みは。

答 町長 大規模な工業団地の造成の必要性が生じている、財政状況を勘案しながら、早期実現に努力する。また、一部の土砂採取跡地を工業用地として提供して頂けないか、地権者に打診している。

問 大規模な団地造成は難しいのではないか。単価の安く販売できる、山林・遊休農地などの更地での販売計画をしようか。

答 町長 企業、地権者と相談しながら検討をしていきたい。

商業の振興について

問 既存の商店の活性化と、商業基盤の強化について、今年度の成果と来年度の取り組みは。

答 町長 商工会補助金、経営改善資金利子補給、割増商品券事業等を行った。来年度も主要施策を継続しながら振興に努める。

問 地域商店への活性化を掲げている割増商品券の発行について、昨年のデータを参考に、改善すべきところがあるのでは。

答 農政商工課長 全ての取扱店で商品券が使われている状況ではない。今後商

工会と商品券の使い勝手も含めた販売対策を検討する。

物産館・緑の郷に、にぎわいを

問 今年度の物産館の改革は。

答 農政商工課長 昨年度は対象となるテナントが見つからなかったが、今年度については、新体制の中で再度検討していく。

問 郷ランドの拡張が行われ利用者が増加する。駐車場増設についての考えを再度伺う。

答 町長 駐車場の効率的に台数が確保できるか、また隣地の土地もあるが、それらについて今後検討していく。

問 緑の郷の改革は。

答 農政商工課長 リニューアルしたレストランを中心に、再度PRメニュー等の見直しをしながら業務推進にあたる。



赤間 茂幸議員

児童生徒の体力向上推進を 運動に取り組む児童の育成を(町長)

問 本町の児童生徒の体格体力はどのような状態になっているのか。

答 教育長 28年度全国体力・運動能力テストでは小学5年生は男女ともに、全国、県平均より身長体重ともに上回っている。中学2年生は男女ともに身長は全国、県平均と同じだが体重は上回っており、やや肥満傾向が見られる。

問 現在小学生を対象に「陸上クリニック」等を実施しているがその成果は。

答 教育長 専門の指導者を招き「走り方」の基本的な指導を行った。教諭にとっても指導法を学ぶ良い機会になった。

問 体育の授業面に問題はないか、その対策は。

答 教育長 小学校では、体育の授業の中で2分間走、

3分間走を必ず取り入れ運動量確保に努めている。業間活動で竹馬や一輪車などバランス感覚を養っている。中学校では、保健体育の授業で運動量の確保に取り組み、特に筋力と敏しょう力の補強を念頭に、授業前のランニング、補強運動などを実施している。

生涯スポーツの充実で 生きがいの持てる生活を

問 町民参加型のスポーツ大会の今年度の実施状況と参加者数は。

答 町長 今年度の「大郷秋まつり・ファミリーマラソン」には、町内外から318名の方々の参加あり、うち町内の参加者は42名である。町春季ゲートボール大会には町内11チームが参加し総当たり制で約1週間にわたり熱戦を繰り広げた。

問 ゲートボール等で高齢者の方たちと小学生、中学生との交流の場を持つてはどうか。

答 教育長 指導員の方々と連絡をとり、子供たちと交わる機会を設けるよう取り計らっていききたい。交流



▲スポーツが楽しめる体育教育を (昨年の小学校運動会)

が図られるよう支援していきたい。

問 今後どのようにスポーツ指導員を育成強化するのか。

答 町長 日本体育協会公認「スポーツリーダー養成講習会」兼「スポーツ少年

団認定員養成講習会」に今年度5名の方が参加している。職員にはB&G財団のアドバンストインストラクター養成研修を5年ほど受講させている。



赤間 滋議員



▲この子らに輝く未来を・・・（保育園の運動会）

町長選への決意と施政方針について

町民との協働により、着実に行政執行にあたっていく(町長)

問 町長は、昨年の12月定例議会において次期町長選への出馬の意向を表明され、3選出馬にあたっての決意と町民へのメッセージについて伺う。

答 町長 一貫して「安全・安心な住みよいまちづくり」を進め、着実、確実な町政運営をしてきた。本町が持続的に発展できるように各種施策を総合的に実施していきたい。

問 財政が厳しい状況の中、成長のための事業を行うには自主財源の増加が必要だ。

答 町長 定住化による人口増、積極的企業誘致による税収の増加と町有地を有効活用して財源を確保する。
問 高崎団地の分譲地（20区画）の早期完売の販売戦略は。

答 まちづくり推進課長 高校生以下の家族がいる世帯の住宅取得には補助金を交付する。また広報、HP、

ポスター、チラシ等による宣伝、現地案内等の販売戦略を立てる。

問 町長のこれまでの実績と反省を踏まえ、今後の重点課題解消のための具体的な施策、事業はなにか伺う。

答 町長 少子高齢化対策と産業振興を主体とした町経済の活性化をさらに推進する。持続的に発展できる産業経済基盤の整備と確立。何よりもそれを担う人材の育成、また、真に役だつ役場の組織づくり等が必要と考えている。

問 赤間町長だからこそできる、町政のかじ取りについての決意を伺う。

答 町長 町民のために、これまで同様町民との協働で、今後も「安全・安心な住みよいまちづくり」を基本とし、着実な行政執行にあたっていく。

問 新年度に重点的に取り組む施策は。

答 町長 総合計画、及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる目標達成に向け、産業振興、安全・安心、教育の充実と協働のまちづくりに関する施策を切れ目なくバランスよく実施していく。

問 昨年新設のまちづくり推進課の実績と今後の取り組みについて伺う。

答 町長 実績としては川内流通工業団地への企業誘致等、移住政策では空き家バンクの開設等、今後は、東北放射光施設の誘致に全力を挙げ取り組む。定住促進としては高崎団地の分譲等に取り組む。



石川 寿和議員

ふるさと納税、新たな取り組みは お盆と年末に感謝セールを実施(町長)

町民総参加の夏まつり

問 今年も開催される予定の夏まつり、先般、ある会で出された開催場所を固定化せず町内数箇所を回る形はどうかと提案されたようだが、どのような返答をしたのか伺う。

答 町長 昨年12月の区長会議での提案と思われるが、そのときは検討すると回答した。

問 現在の考えを伺う。

答 町長 雨天時の代替会場、花火の打ち上げ場所、駐車場、砂ぼこり対策等を考慮した場合、現在の場所が適切と考えている。

問 移動して開催出来ないのであれば、交通手段のない方のためにシャトルバスを運行できないか伺う。

答 まちづくり推進課長

花火の費用、舞台設備、イベント費用等で予算上、シャトルバスは難しいと考えている。

ふるさと納税について

問 昨年末、期限内納税ということもあり駆け込みでかなりの額が納税されたと聞いているがその結果を伺う。

答 町長 平成28年度現在までに1747件、約3025万円の寄附の申し出があり、特に12月には、返礼率を40%から50%にアップするなど、お得感を全面に出した取り組みとPRを行ったところ、12月の1カ月だけで1189件、1700万円を超す寄附が寄せられた。

問 新たな取り組みを伺う。

答 町長 平成29年度は、お盆と年末の感謝セールを実施し、今年以上の実績となるよう取り組んでいく。

新工業用地の進捗は

問 昨年6月3日の議員全員協議会において、候補地所有者から5月22日売却同意書をいただいた旨の報告



▲新工業用地予定地（川内地区）

を受けたが、12月22日の企業誘致に関する調査特別委員会でも、その後内部で検討した結果、工事費が多額になるため、整備方法、価格等について検討中であると報告された。今後どうするのか伺う。

答 町長 財政状況を勘案の上、早期に実現できるように努力していく。

問 企業誘致に名古屋や東京に行っているが、提供できる用地がない、更地がない、早急に欲しいとのことだが、今後どうされるのか。

答 町長 川内地区の新工業用地として、枠を引いてオーダーメイドで紹介していきたいと思っている。

問 地権者の方には現在どんな話をされているのか、そして反応は。

答 まちづくり推進課長 昨年の8月に、29年度において作付けをお願いしたい旨の連絡をした。一部の方からは、早く購入していただき、整備してほしいとの意見を承っている。

山中希望の丘線町道新設に係る財政内容

	金額	事業内容
28年度まで	17,000,000円	これまでの測量設計委託費
29年度	10,000,000円	用地測量・物件調査
30年度	70,000,000円	用地買収・物件補償・改良工事
31年度	80,000,000円	改良工事
32年度	80,000,000円	改良工事並びに舗装工事
33年度	5,000,000円	道路台帳整備（国庫補助対象外）
総事業費	262,000,000円	

財政計画

	財源のやりくり	金額
社会資本総合整備交付金	総事業費の60%が交付金の対象	157,200,000円
地方債（町が20年にわたり支払う借金）	交付金残額の90%以内が融資可能	92,500,000円
一般財源	262,000,000円－（交付金+地方債）	12,300,000円
総事業費合計		262,000,000円



千葉 勇治議員

児童館を拠点施設とする考えは
子どもの健全育成に地域と連携で（町長）

児童館の拠点施設活用とは

問 児童館利用について

「18歳以上でも可能であり、地域の拠点施設として位置付ける」としているが、具体的な取り組み内容を伺う。

答 町長 18歳以上の方でも、乳幼児の保護者向けワークショップ（研修会など）の開催や社会人ボランティア、一般の方を対象とした子どもの健全育成のための勉強会等地域に開かれた運営を目指し、町は設置者として、常に運営状況を確認しながら地域との連携を深め活動の充実に努めていく。

郷子舎の児童館利用にも配慮を

問 大郷町放課後子ども教室「郷子舎」（小学1年生

）6年生までなら誰でもが（教育長の承諾条件）利用

可能）も新設の児童館利用になるが、「郷子舎」は児童館管理の委託書には含まれていない。

「郷子舎」利用児童に自身の狭い思いをさせることなく、使えるよう町の強い配慮を求める。

答 教育長 「郷子舎」運営については、あらゆる障壁を設けないのが原則であり、今後もそのように対応していく。

町道山中希望の丘線の事業計画と財政計画は

問 今後の事業計画と予想される財政計画を示せ。

答 町長 総額で2億6200万円で、29年度に用地測量・物件調査し、32年度までに改良工事・舗装工事を終了させる予定だ。

（財政計画の詳細は表の通り）

問 町内全域の通学路安全対策並びに市街化計画について説明を。

答 町長 町内全域を確認したが、必要な場所はないと判断している。また市街化形成については、まずは道路を着手することが前提と考えている。

町内全域の通学路対策と市街化形成計画は



大友 三男議員

公共事業入札の現状は

財務規則、入札に関する要綱、要領の定めにより執行(町長)

高い落札率に懸念

問 本町の昨年8月から今年1月までの平均落札率が97・07パーセントと高く、正常な入札が行われていないのではないかと懸念している。

答 副町長 町として、公共の単価や市場価格を交え積算しており、業者も同じ認識での積算であり、予定価格と入札価格にさほど差が出ない状況は当然出ると思っている。

問 町長 落札結果を確認したところ、適正な競争が行われた結果と考えている。
問 公共事業入札参加業者で、平成26年住民バス2社参加中1社直前辞退、昨年6月児童館建設事業2社参加中1社直前辞退、12月住民バス新車購入事業5社参加中2社辞退、2社失格、

最終的に1社のみが入札になるなど、競争原理が働いていないのではないかと懸念している。

答 町長 辞退は入札参加業者の権利で、個々の対応の結果であり、競争原理は働いていると考えている。

問 今回スクールバス運行業者を競争入札ではなく、競争見積方式という全国でも特別な方法で行っている例の少ない方法でなぜ随意契約としたのか。

答 副町長 法的に料金の算定方法が改正されたことにより、見積書の積算が定められた方法に基づいたものかどうか確認するための時間を要することから、随意契約という方法で行った。
問 本町スクールバス運行中に事故を起こした会社や、法違反を繰り返す会社など、問題のある2社と契約した根拠は。

答 副町長 幅広く指名をし、基準に基づき見積価格等を精査し決定した。

入学支援事業拡大を

問 昨年3月議会で、子育て支援事業の一環として、新入園児、新小中学生に、



▲ 4月より開園した児童館

運動着や上靴の支援を提案したが、町長は、全く考えていないと答弁していた、

答 町長 特に計画をしていない。

しかし、今年度は新小中学生だけに、運動着の支援をするようになった様だが、新入園、新小中学生、子供達全員に運動着支援をしてはどうか。



▲大松沢地区での元気アップ教室



和賀 直義議員

健康なまちづくりの重点施策は

受診率を上げ健康寿命の延伸を推進(町長)

問 「町民が安心して暮らせる健康なまち」の重点施策は。

答 町長 ①各種検診の自己負担の見直しと、働き盛り世代の受診機会の拡大を図り、受診率向上に努める。

②放課後児童の居場所・通いの場として新児童館を4月にオープン、小学校入学準備用品の助成を行い子育て世代の負担軽減を図る。
③生活支援コーディネーターの配置と協議体の設置により、介護予防事業を推進する。④認知症対策として、共同生活介護における家賃等の助成を行い、低所得利用者の負担軽減を図る。

問 受診・健康イベントに参加者ポイントを付与し、ポイントに応じて町内で利用できる商品券を配る等の健康ポイント制を実施できないか。

答 保健福祉課長 実績のある他町村の状況調査、有

効性も含めて検討する。
問 中学校・道の駅・公園のトイレの洋式化の計画は。

答 町長 中学校については学校施設改善交付金事業などを導入しながら進め、道の駅や開発センターも順次整備を進める。公園施設は利用者の声を聴きながら計画的に設置する。

教育のさらなる充実で心豊かなまちづくり
問 学力向上、国際性に富んだ児童生徒の育成に努めるなど、幅広い教育行政をうたっているが具体的な推進は。

答 町長 教員研修により指導力向上と教員補助者の配置の継続、協働教育プラットフォームフォーラム事業や放課後子供教室の充実を図り、社会教育での体験活動を推進する。英語活動支援員を平成27年に小学校、28年に幼稚園に派遣し、ALT・学

級担任と共に県内でも先駆けした形で国際理解教育を推進している。
問 幼稚園の3歳児教育を31年度から実施としているが、その課題と対策は。

答 町長 園舎の増築、教職員の配置、通園バスの見直しが必要。31年度実施に向けて着実に進めていく。

問 中学校の生徒数が少ないため、部活数が少なく、好きなスポーツに取り組めないとの声を聴く。広域な学校連携、地域の協働での対策等どのような検討がされているのか。

答 町長 複数の学校連携による合同チーム編成は中体連と各学校間で協議していく必要がある。

総務 産業

土取場の現況と流域周辺への影響および対策 乱開発防止のため強い監視体制を（1月25日）

町内の広範囲で行われている土砂採取や団地造成等に伴い、その下流域の用水路、堰などへの土砂流出についての状況と問題箇所の改善を図ることを目的に調査を実施した。

【意見】

1. 未明ニュータウンについては今後も大量の土砂採取がなされるが、梅雨時期には土砂流出が懸念される。
2. 板谷東山の土砂採取地は、昨年の台風7号による大豪雨被害の確認調査に赴いたとき、ものすごく勢いで濁流が滑川に流れていた。今回の調査において、その時の対策がなされていない、土砂流出防止対策の指導を強化されたい。
3. 東成田のある地区において、開発許可も無く土砂採取されていた違法行為が判明。土地の乱開発

防止のためにも強い監視体制が必要である。再発防止に万全を期されたい。



▲未明ニュータウンの状況調査

教育 民生

廃棄物の処理について調査 汚染廃棄物の適正な処分を（1月25日）

大郷町汚染廃棄物保管施設（大松沢）に赴き現地調査し、その後役場において、町民課長より、廃棄物の現状と環境管理センターの現状の説明を受けた。

【意見】

一般ゴミは、3ヶ町村とも増加傾向にあるが、資源ゴミの分別割合は、大和町7・4%、大衡村5・4%、大郷町11%であり、努力の後が見られるが、本町は人口が減少しているにもかかわらず微増ではあるが増加傾向にある。更なる減量化

を図られたい。

汚染廃棄物は、きちんと保管されていた。今般、県からの要請もあり早急な処分が議論されている。混焼を軸に話し合われているようであるが、環境管理センターでは27年度実績が受入日数261日で稼働日数317日で焼却している状況

であり、処理能力（新炉も同程度の能力）を考えると不安である。加えて同センターには東日本大震災の未処理分が2000トンあると聞く。3ヶ町村並びに黒川地域行政事務組合と更なる議論を深め、早急な処分を望む。



▲汚染廃棄物の適正管理が望まれる

議会改革

議会改革と活性化を

12月から3月にかけて議会改革調査特別委員会において、開かれた議会を目指し、協議された内容は次のとおりです。

決定

○議会報告会の実施
日時や編成、内容などの協議を進め、第1回の報告会を5月20日・27日に実施します。

○政務活動費のネット公開
平成28年度分よりホームページに掲載します。

今後の課題

○議会中継の実施
今後、費用対効果なども考え検討していく。

○議会の運営について
会議規則の見直し
傍聴規則の見直しなど



議会用語

政務活動費って何？

地方議会の議員が政策調査研究などの活動のために支給される費用である。以前は政務調査費の名称であったが平成24年の地方自治法の改正により改称された。政務活動費の交付は、地方分権一括法の施行などに

より地方議会や議員の活動がより重要となったことから、平成12年の地方自治法改正により制度化され、本町でも条例を制定している。

情の扱い、議員の辞職、規律等を定めている。会議規則の制定改廃は、地方自治法16条の規定による公告式条例により議長名で公表を要する。

議調整を行うための場を設けることができるとしている。本町議会では、地方自治法第100条第12項および会議規則第128条の規定に基づき、全員協議会を設置している。全員協議会の運営などは、議長が定めることになっており、議長が召集する。

会議規則って何？

本会議の運営に関する一般的な手続きおよび内部規律などを定めた規則である。本会議・委員会の議事手続議会で行う選挙、請願・陳

全員協議会って何？
地方自治法第100条第12項で、議会は会議規則の定めるところにより、議案審査、議会運営に関し、協

次回定例議会

みなさんの傍聴をお待ちしています

6月6日(火)から
午前10時～
6月9日(金)まで

議会の
生の声を

こんな研修ありました

1/17

くろかわ商工会会員と大郷町議会議員との懇談会



テーマ 「大郷町商工業振興及び地域振興」

平成29年1月17日(火)ふるさとプラザ物産館で開催され、鎌田寛大郷支部長及び石川議会議長の開会挨拶後、商工会の事業概要、支部活動状況の説明を受けた後、「大郷町商工業振興及び地域振興」について意見交換を行った。議員個々の活性化策を述べた後、商工会会員の方々からは、町で地元の商工業をもっと色々な面で利用して欲しい等の意見が出された。

1/20

県議長会議員研修会

場所 宮城県自治会館
講師 川村晃司氏
(テレビ朝日コメンテーター)
演題 「日本の政治の行方」



1/26

茂登枝会会員と現職議員との新春懇談会



テーマ 「町の現状と抱えている諸課題について」

平成29年1月26日(木)ふるさとプラザ物産館で開催され、伊藤嘉男茂登枝会会長の挨拶に続き、石川良彦議長の祝辞の後「町の現状と抱えている諸課題について」をテーマに意見交換を行った。

特に本町の基幹産業である農業の問題点について活発な意見交換を行った。茂登枝会からは、農業の推進、物産館・開発センターの有効活用等の検討課題があげられた。

大郷町議会



議会報告会

開かれた議会をめざし、皆様の地域に
議会活動の状況を報告・説明に伺います。
下記のとおり報告会を開催いたします。
どなたでも参加できますので
お気軽にご来場ください。

あなたの意見をお聞かせください。

- 内容（予定） ①平成29年度大郷町予算概要について
②意見交換会

会 場	日 時	担当班
ふれあいセンター 2 1	5月20日（土） 午後7時～8時30分	1班
中 粕 川 分 館	5月20日（土） 午後7時～8時30分	2班
中 村 分 館	5月27日（土） 午後7時～8時30分	1班
大松沢社会教育センター	5月27日（土） 午後7時～8時30分	2班

※報告会には、
おおさとみんなの議会第186号を
ご持参ください。

追跡レポート

認知症対策を

地域住民全体を対象とした認知症に関する啓発運動、及び65歳以上の方を対象にMC I（軽度認知障害）の早期発見と予防事業の実施に早急に取り組むことを強く求める。

（平成26年9月議会、教育民生常任委員会報告書より）

その後の対応と今後の計画

認知症に対しては、まだ否定的な思いを持たれている傾向にあるため、認知症サポーター養成講座の開催や広報等による啓発により理解を深められるよう努めてまいります。

認知症は、早期発見し、早期治療・ケアに結びつけることが重要であるため、MC Iの早期発見に向けた取り組みを推進するとともに、予防の周知に努めてまいります。

なお、認知症対策については、平成28年度から、地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置するとともに、認知症初期集中支援チームを設置し、相談・支援体制の整備を図っております。

保健福祉課長



▲社会福祉協議会（地域包括支援センター）



▲物産館

地域振興公社の改革は

物産館、開発センター、縁の郷について、速やかに改革出来るという根拠を伺う。（平成28年3月議会、一般質問より）

町長答弁

公社より「指定管理運営業務に関するプロジェクトチーム」を設置し、「改革推進のための信条」の提案があった。これにより強い意志を確認した。

その後の対応と今後の計画

昨年2月、物産館・開発センター等の運営業務改革のため、プロジェクトチームが設置された。改革の一つとしてテナントを募集したところ合計2社の応募があったため公募審査会を実施したが、採択には至らなかった。

今後については、地域振興公社の新社長とプロジェクトチームとで連携を図り、民活導入等、抜本的な改革の手法等について引き続き検討していくとともに、社員教育の徹底を行い、接客サービスの向上等、経営の健全化及び自立を目指していく。

農政商工課長

住民の 声



千葉 一夫さん
(山崎)

喜寿を迎えて 思うこと

町のスローガン、安心安全のまちづくり
に、町長を先頭に邁進していること、町民
の一人として頼もしく思っています。

これまで団塊の人生をいろいろな人との
出会いと、その縁に感謝し振り返りますと、
ただ世間の情報に振り廻され、評論家的な
批判をくり返してきた人生だったと反省ば
かりです。

しかし本町の将来を担う子供達を思うに、
現時点では町人口減の問題よりも、子供達
の資質向上こそ必要不可欠ではないでしょ
うか。ここで町執行部、議員にもう少し自
覚と将来のビジョンを持ち町づくりに精神
をこめていただきますよう、安心安全の町
づくりに方向性を見出して頂きたい。

正確で解りやすくをモットーに より良い紙面づくりを目指します!

大衡村総務住民常任委員会来庁

第3セクターの現況について視察

2月16日(木)、宮城県大衡村議会総務住民常任委
員会(議員7名、職員8名)が行政視察のため本町
を訪れました。

視察の目的は第3セクターの現況(指定管理者の
募集のあり方、指定管理料の積算方法等)について、
です。

担当職員が資料より本町での取り組みの現況等を
詳しく説明後、両議会による活発な意見交換を行
いました。



▲大衡村議会より行政視察来庁

編集後記

人事異動の春、議会事
務局も若者一名が異動。
ニューパワーの活躍を期
待し、全員で「パストラ
ル緑の郷」のリニューアル
されたレストラン「最
呂部居屋(モロヘイヤ)」
で歓送迎会を開催した。
西側の小窓が大きく改
造され、船形連峰へのサ
ンセットが贅沢に堪能で
きるようになった。夕日
が徐々に沈み、沈む瞬間
の真っ赤な景色、漆黒の
稜線。

秋の紅葉、真っ白な冬
はどんな演出になるのだ
ろう。(未確認)

郷の夕暮れのポスター、
「徐々にくれ行く夕暮れ
の空を篠笛が奏でる」に
惹かれ、CDを購入。
日本一の夕暮れ、食事
と共に楽しむことをす
めます。(和賀 直義)

編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 和賀 直義 |
| 副委員長 | 佐藤千加雄 |
| 委員 | 赤間 茂幸 |
| | 石川 壽和 |
| | 高橋 重信 |
| | 吉田 茂美 |

